



皆 農業の未来を担う青年農業者 さんが活躍しています！

2月22日(月)、曾於畑地かんがい農業推進センターにおいて、伊地知洋一さんが青年農業士に認定され、その伝達式が行われました。

伊地知さんは、OACクラブ(大崎町農業青年クラブ)の会長としてクラブ員と共に、本町でパイナップル栽培に取り組み、プロジェクトの結果を曾於地区青年農業者会議で発表されるなどの活動が認められ、今回の認定となりました。

また、2月8日(月)に志布志市役所で行われた曾於地区青年農業者会議において富吉智哉さんが『輝けトーク』で意見発表を行いました。

当日は新型コロナ対策で事前録画での発表となりましたが、富吉さんは「農作業の改善をきっかけに、自分の農業に対する意識の変化が生まれた。農業でチャレンジできる回数は限られているので、新しい方法に積極的に取り組んで、改善したことがあれば、青年みんなで共有をしていきたい」と話されました。

ワ 鹿大生とともに10年後を考える ワークショップを実施しました

3月6日(土)、マルおおさき(旧おおさきマルシェ)において、鹿児島大学の学生と地域住民らによるリサイクルや多文化共生社会を考えるワークショップが開催されました。

ワークショップに先立ち司会を務めた鹿大生2人は卒業論文を発表し、その後ワークショップが行われ、外国人技能実習生の地方での生活や現状、課題について活発に議論がなされました。



リ 大崎中ボランティア部がPR サイクル未来創生プログラム

3月14日(日)、大崎中学校ボランティア部の皆さんが、チャレンジ朝市において、掘り出し物市を行いました。

これは、リサイクル未来創生奨学プログラムのPRを目的に実施され、そおりサイクルセンターから提供された衣類などが販売されました。

販売によって得た益金は同プログラムの原資に充てられます。